

## マスコミ各位

平成27年11月20日（金）

沖縄県保健医療部健康長寿課 結核感染症班

担 当：平良、山内

電 話：098-866-2209

# 流行性耳下腺炎の流行について(注意喚起)

## 1 概要

沖縄県内では、2014年10月頃から流行性耳下腺炎（おたふく風邪）の流行が中部保健所管内で始まり、2015年3月末頃から10月中旬にかけて北部保健所管内へ、9月から11月にかけて宮古保健所管内へと地域流行がシフトしてきております。それぞれの地域の流行については各保健所により注意喚起をしておりましたが、今後も県内で流行が継続する可能性があることから、県民の皆様へ注意を呼びかけます。

### 【流行性耳下腺炎とは】

原 因：ムンプスウイルス

潜伏期間：2～3週間

症 状：片側または両側の耳下腺・舌下腺の腫脹や発熱を特徴とする。耳下腺等の腫れで食事がとりにくくなったりします。通常、1～2週間ほどで軽快。

感染経路：くしゃみや咳などの唾液を介してヒトからヒトに感染します（飛沫または接触感染）。

好発年齢：3歳から6歳頃の子どもの多く発症し、感染力はかなり強いといわれています。

また、3割程度に不顕性感染（感染しても症状がでない）があります。

合 併 症：無菌性髄膜炎や睾丸炎、卵巣炎、難聴などがあります。特に難聴は流行性耳下腺炎の最も警戒すべき合併症の一つであり、1,000人に1人の頻度で発生するといわれています。

## 2 流行性耳下腺炎の患者発生状況

感染症発生動向調査事業において県内の小児科定点医療機関（34施設）の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

### （1）定点当たりの患者報告数（直近の7週間）

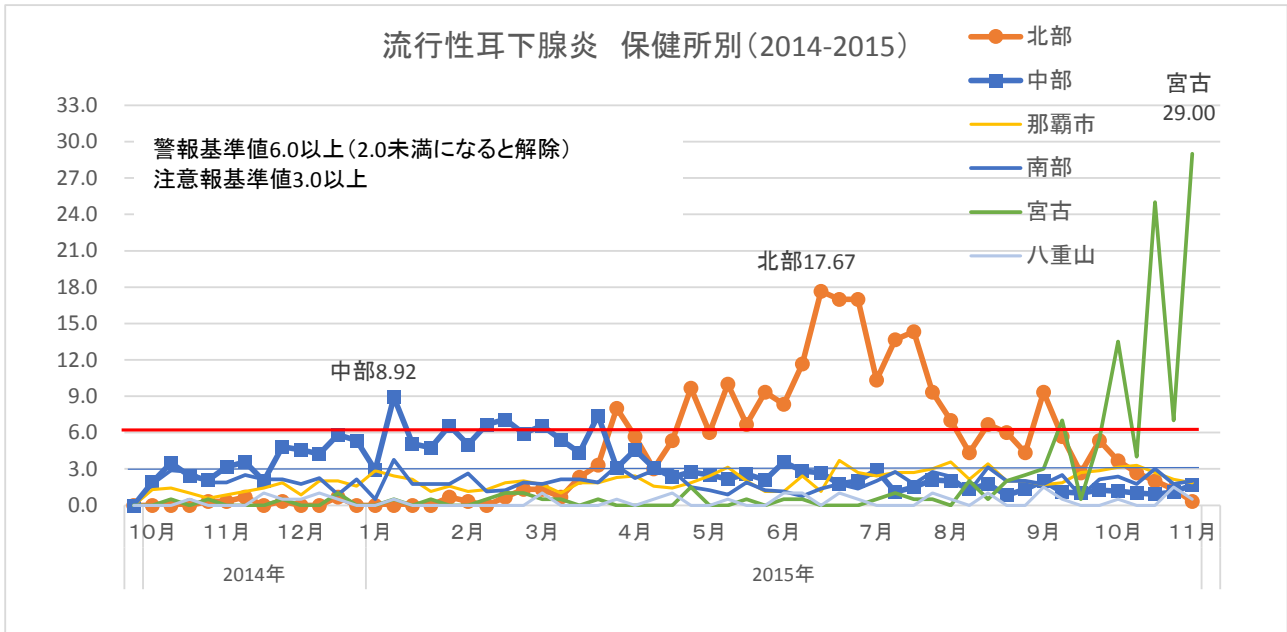
	週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週
		9/28 ～10/4	10/5 ～10/11	10/12 ～10/18	10/19 ～10/25	10/26 ～11/1	11/2 ～11/8	11/9 ～11/15
県	患者数	79	94	65	110	63	61	109
	定点当	2.32	2.76	1.91	3.24	1.85	1.79	3.21
全 国	患者数	1895	1823	1776	2138	1713	2040	
	定点当	0.60	0.58	0.56	0.68	0.54	0.65	

※感染症発生動向調査システム上の警報・注意報の基準値

流行注意報：定点当たり3人以上

流行警報：定点当たり6人以上

## (2) 保健所別



## (3) 年齢別患者報告数 (2015年第1週～第46週)

年齢群	6ヶ月 未満	12ヶ月 未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳 以上	合計
患者報告数	7	19	226	418	551	653	596	526	307	204	152	298	34	158	4149
(%)	(0.2)	(0.5)	(5.4)	(10.1)	(13.3)	(15.7)	(14.4)	(12.7)	(7.4)	(4.9)	(3.7)	(7.2)	(0.8)	(3.8)	

2歳～6歳が、全体の66.2%を占めています。

## 3 感染予防策

- ① 手洗い、うがいを心がけ、タオル等の共用はやめましょう。
- ② 症状のある人との濃厚接触は避けましょう。
- ③ 咳が出る場合は、マスクを着用し、咳エチケットを守りましょう。
- ④ ワクチン接種(弱毒生ワクチン)が有効で、1歳と小学校就学前の2回接種が推奨されます(日本小児科学会)。おたふくかぜワクチンは任意接種であるため、費用が自己負担となります。接種を希望される場合はかかりつけ医などに相談してください。